

PRINCE2® ファンデーション  
(PRINCE2® Foundation)  
受験者向けのシラバス

2017年7月

---

## はじめに

PRINCE2 ファンデーション認定資格はプロジェクト・マネージャーおよびプロジェクト・マネージャーの志願者を対象としています。プロジェクトの設計、開発、提供に関するその他の主要なスタッフも対象となります。これには、プロジェクト委員会メンバー（例：上級管理責任者）、チーム・マネージャー（例：成果物提供マネージャー）、プロジェクト保証（例：ビジネス変更アナリスト）、プロジェクト支援（例：プロジェクトおよびプログラム・オフィスの要員）、運用ライン・マネージャーまたはスタッフが含まれます。

PRINCE2 ファンデーション試験は、受験者が以下のとおりシラバスに記載された PRINCE2 プロジェクト・マネジメント手法を記憶し理解していることを確認することを目的としています。PRINCE2 ファンデーション認定資格は、PRINCE2 プラクティショナー試験の前提条件となります。PRINCE2 プラクティショナー試験では、理解している PRINCE2 プロジェクト・マネジメント手法を状況に合わせて応用する力が評価されます。

## 試験の概要

持ち込み可能な資料	なし	この試験は「持ち込み不可」です。2017 年版の『成功のためのプロジェクト・マネジメント手法 PRINCE2』は推奨されている学習教材ですが、試験中に参照することはできません。
試験時間	60 分間	母国語以外または業務で使用する言語以外の言語で試験を受ける受験者には 25% の延長が認められ、制限時間は 75 分間になります。
配点	60 点	60 個の設問があり、1 問につき 1 点です。点数がマイナスになることはありません。
合格点	33 点	試験に合格するには、33 問以上正解 (55%) する必要があります。
思考レベル	ブルームのレベル 1 および 2	「ブルームのレベル」は、設問に答えるために必要な思考のタイプを表します。ブルームのレベル 1 の設問では、PRINCE2 手法に関する情報を思い出す必要があります。ブルームのレベル 2 の設問では、それらの概念を理解していることを示す必要があります。
設問のタイプ	標準、語句の穴埋め、リスト	設問はすべて「多肢選択式」です。 「標準」の設問では、設問に対する答えとして 4 つの選択肢が提示されます。 「語句の穴埋め」の設問では、ある語句が抜けた文章が提示され、その抜けた語句を 4 つの選択肢の中から選択します。 「リスト」の設問では、4 つの文章が提示され、正解を 2 つ選択します。

### 「標準」の設問例:

次のうち、PRINCE2 に統合された 4 つの要素に該当するものはどれですか？

- a) 品質
- b) 役割記述書
- c) プロセス
- d) 成果物記述書

### 「語句の穴埋め」の設問例:

次の文の空欄に当てはまる言葉を選択してください。

[?] テーマの目的は、プロジェクトの達成目標から受け入れられない偏差をコントロールすることです。

- a) 変更
- b) 計画
- c) 進捗
- d) リスク

### 「リスト」の設問例:

テーラリングについて、正しい記述を 2 つ選択してください。

1. プロセスは簡素化したり、より詳細に実行したりできる。
2. 用語は組織の標準に合わせて変更できる。
3. プロジェクトに関係のないテーマは除外できる。
4. プロジェクト・マネジメント・チームのメンバーは、役割を自由に組み合わせる担当できる。

- a) 1 と 2
- b) 2 と 3
- c) 3 と 4
- d) 1 と 4

試験の形式と内容の例については、模擬試験をご確認ください。

## シラバス

以下の表では、試験で知識が試される概念の概要と、それらの概念が説明されるマニュアルの主要部分をまとめています。書籍参照先は、該当の記述があるセクションです。特に記載のない限り、セクション内のサブセクションではありません。

学習成果 1 - プロジェクトと PRINCE2 に関連する主要概念を理解する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
1.1 以下を思い出す： <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの定義と特徴</li> <li>マネジメントすべきプロジェクトのパフォーマンスの 6 つの側面</li> <li>PRINCE2 の統合された要素：原則、テーマ、プロセス、プロジェクト環境</li> <li>プロジェクトが「PRINCE2 プロジェクト」である基準</li> </ul>	1.1、1.3、2.1、2.3	BL1	3
1.2 以下を説明する： <ul style="list-style-type: none"> <li>PRINCE2 の特徴とベネフィット</li> <li>PRINCE2 が基準とする顧客とサプライヤーの位置づけ</li> </ul>	1、2.5、2.5.4	BL2	2

学習成果 2 - PRINCE2 の原則がどのように PRINCE2 手法の基盤となるかを理解する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
2.1 PRINCE2 の以下の原則を説明する： <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス正当性の継続</li> <li>経験からの学習</li> <li>役割と責任の定義</li> <li>段階によるマネジメント</li> <li>例外によるマネジメント</li> <li>成果物重視</li> <li>プロジェクトに合わせたテーラリング</li> </ul>	第 3 章	BL2	7
2.2 プロジェクトのどの側面がテーラリング可能であり、誰が実行責任を負い、どのようにしてテーラリングの判断を文書化するかを説明する	4.3.1-2	BL2	1

学習成果 3 - PRINCE2 テーマとプロジェクト全体を通してそれを適用する方法を理解する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
3.1.1 以下の目的を説明する： <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス・ケース・テーマ</li> <li>ビジネス・ケース、ベネフィット・マネジメント・アプローチ</li> </ul>	6.1、A.1.1、A.2.1	BL2	1
3.1.2 ビジネス・ケース・テーマを適用するうえでの PRINCE2 の最低要件を説明する	6.2	BL2	1
3.1.3 ビジネス正当性に関連する主要概念と、アウトプット、成果、ベネフィット、ディスベネフィットの違いを定義する	6.1、図 6.1	BL1	1
3.2.1 以下の目的を説明する： <ul style="list-style-type: none"> <li>組織テーマ</li> <li>コミュニケーション・マネジメント・アプローチ</li> </ul>	7.1、A.5.1	BL2	1
3.2.2 組織テーマを適用するうえでの PRINCE 2 の最低要件を説明する	7.2、図 7.3	BL2	1

## シラバス(続き)

学習成果 3(続き)- PRINCE2 テーマとプロジェクト全体を通してそれを適用する方法を理解する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
3.2.3 以下の役割と責任を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクト委員会</li> <li>● エグゼクティブ</li> <li>● シニア・ユーザー</li> <li>● シニア・サプライヤー</li> <li>● プロジェクト保証</li> <li>● 変更許可委員</li> <li>● プロジェクト・マネージャー</li> <li>● チーム・マネージャー</li> <li>● プロジェクト支援</li> </ul> 兼任可能な役割の特定も含む	7.2.1(すべてのサブセクション)	BL2	4
3.2.4 組織に関連する以下の主要概念を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利害関係者</li> <li>● 3つのプロジェクト利害関係と4つのマネジメント・レベルでの位置づけ</li> </ul>	7.1、図 7.1、図 7.2	BL2	1
3.3.1 以下の目的を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質テーマ(8.1)</li> <li>● 成果物記述書、プロジェクト成果物記述書、品質マネジメント・アプローチ、品質登録簿</li> </ul>	8.1、A.17.1、A.21.1、A.22.1、A.23.1	BL2	2
3.3.2 品質テーマを適用するうえでの PRINCE2 の最低要件を説明する	8.2	BL2	1
3.3.3 品質に関連する主要概念と、以下の違いを説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質計画と品質コントロール</li> <li>● プロジェクト保証と品質保証</li> <li>● 顧客の期待品質と受け入れ基準</li> </ul>	8.1.1、8.3.6、8.3.8	BL2	1
3.4.1 以下の目的を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画テーマ</li> <li>● プロジェクト計画書、段階計画書、例外計画書、チーム計画書</li> </ul>	9.1、9.2.1-4、A.16.1	BL2	1
3.4.2 計画テーマを適用するうえでの PRINCE2 の最低要件を説明する	9.2	BL2	1
3.4.3 次のステップを思い出す: <ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下を含む、計画に対する推奨アプローチ</li> <li>● 成果物の定義と分析に対する推奨アプローチ</li> </ul> 以下を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクトをマネジメント段階に分割するときに考慮すべき要因</li> </ul>	図 9.2、図 9.6、9.3.1.1	BL1	2
		BL2	
3.5.1 以下の目的を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● リスク・テーマ(リスク予算の目的を含む)</li> <li>● リスク・マネジメント・アプローチ、リスク登録簿</li> </ul>	10.1、10.3.7、A.24.1、A.25.1	BL2	1
3.5.2 リスク・テーマを適用するうえでの PRINCE2 の最低要件を説明する	10.2	BL2	1
3.5.3 リスクに関連する主要概念と、以下の違いを説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● リスク: 脅威または機会</li> <li>● 推奨されるリスク対応策の種類</li> <li>● リスク・オーナーとリスク担当者</li> <li>● 原因、イベント、影響</li> <li>● リスクの発生確率、リスクのインパクト、リスクの接近度</li> </ul>	10.1、表 10.3、10.4.4、10.4.1.2、10.4.2.1	BL1	2
3.5.4 推奨されるリスク・マネジメント手順を説明する	10.3.2、10.4.1-5	BL2	1
3.6.1 以下の目的を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>● 変更テーマ(変更予算の目的を含む)</li> <li>● 変更コントロール・アプローチ、構成アイテム・レコード、課題登録簿、課題報告書、成果物ステータス報告書</li> </ul>	11.1、11.3.6、A.3.1、A.6.1、A.12.1、A.13.1	BL2	1
3.6.2 変更テーマを適用するうえでの PRINCE2 の最低要件を説明する	11.2	BL2	1

学習成果 3(続き) - PRINCE2 テーマとプロジェクト全体を通してそれを適用する方法を理解する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
3.6.3 以下を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>課題の種類</li> <li>推奨される課題および変更コントロール手順</li> </ul>	11.1、表 11.1 図 11.1、11.4.1-5	BL2	1
3.7.1 以下の目的を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>進捗テーマ</li> <li>デイリー・ログ、教訓ログ、教訓報告書、ワーク・パッケージ、段階終了報告書、プロジェクト終了報告書、チェックポイント報告書、ハイライト報告書、例外レポート</li> </ul>	12.1、A.7.1、 A.14.1、12.2.2.3、 A.15.1、A.26.1、 12.2.2.1、A.9.1、 A.8.1、A.4.1、 A.11.1、12.2.2.4、 A.10.1	BL2	2
3.7.2 進捗テーマを適用するうえでの PRINCE2 の最低要件を説明する	12.2	BL2	1
3.7.3 進捗に関連する以下の主要概念を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントおよび時間によるコントロール</li> <li>許容度と例外(許容度の設定方法と例外の報告方法を含む)</li> </ul>	12.2.2、12.2.1、図 12.1、12.2.3	BL2	2

学習成果 4 - PRINCE2 プロセスとプロジェクト全体を通してそれを適用する方法を理解する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
4.1 以下の PRINCE2 プロセスの目的を説明する: <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの始動(プロジェクト要約書の目的を含む)</li> <li>プロジェクトの指揮(プロジェクト立ち上げ文書(PID)の目的を含む)</li> <li>プロジェクトの立ち上げ</li> <li>段階のコントロール</li> <li>成果物提供のマネジメント</li> <li>段階境界のマネジメント</li> <li>プロジェクトのクローズ</li> </ul>	14.1、A.19.1、 15.1、A.20.1、 16.1、17.1、 18.1、19.1、20.1	BL2	6
4.2 PRINCE2 プロセスの目標を説明する(上記のとおり PID とプロジェクト要約書は除く):	14.2、15.2、 16.2、17.2、 18.2、19.2、20.2	BL2	5
4.3 PRINCE2 プロセスの位置づけを説明する(上記のとおり PID とプロジェクト要約書は除く):	14.3、15.3、 16.3、17.3、 18.3、19.3、20.3	BL2	5